

福祉教育について

～こどもの成長とともに～



「福祉教育」とは・・・

ふだんのくらしのしあわせをつくるための学び

主人公は、自分！！

福祉教育は、ふくしを我がごとにするきっかけづくり

「社会福祉」とは・・・

社会全体の福祉向上を目指し、すべての人々が、毎日の生活の中で幸せを感じられる社会を作り出すこと

＜社会福祉の根拠＞

憲法第13条 すべての国民は、個人として尊重される。

➡ 「幸福追求権」

憲法第25条 すべての国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。

➡ 「生存権保障」

子どもたちに
必要な…

「知識教育」と「人間教育」

知識教育

個々の学力を向上させる

人間教育

自分自身が存在することに価値をみいだし、自分自身が
価値ある存在であること（自尊感情）を自ら学ぶ

福祉教育の
目的と一致

例えば…

地域での福祉教育の事例



地域の方から…

地域で生活している方の中に、精神障がいの方がいる。



周りの住民は接し方も分からず、当事者は孤立状態。



地域住民向けの精神障がいについての正しい理解と
接し方を学ぶ機会を設ける

「精神保健福祉の基礎と理解」を実施

育成すべき資質・能力の三つの柱

学びに向かう力
人間性等

どのように社会・世界と関わり、
よりよい人生を送るか

「確かな学力」「健やかな体」「豊かな心」を
総合的にとらえて構造化

何を理解しているか
何ができるか

知識・技能

理解していること・できる
ことをどう使うか

思考力・判断力・表現力等

主体的・対話的で深い学び（「アクティブ・ラーニング」） の視点からの授業改善について（イメージ）

「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を行うことで、学校教育における質の高い学びを実現し、学習内容を深く理解し、資質・能力を身に付け、生涯にわたって能動的（アクティブ）に学び続けるようにすること

【主体的な学び】の視点

学ぶことに興味や関心を持ち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しを持って粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげる「**主体的な学び**」が実現できているか。



主体的な学び
対話的な学び
深い学び

学びを人生や社会に
生かそうとする
学びに向かう力・
人間性等の涵養

生きて働く
知識・技能の
習得

未知の状況にも
対応できる
思考力・判断力・表現力
等の育成



【対話的な学び】の視点

子供同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める「**対話的な学び**」が実現できているか。



【深い学び】の視点

習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう「**深い学び**」が実現できているか。

社協の提案する福祉教育の展開

・関心を持つ **知る**



気づき

- ・当事者の生活
- ・当事者の思い
- ・ふれあい



行動する

- ・できることを実行する
- ・関わり合う



考える

- ・自分ができること
- ・学校・地域ができること
- ・学ぶ

子どもの成長と学び



学びの深化から
課題の発見

高等学校
・PDCAの実現



自分に何ができる
か提案する

中学校
・当事者ゲストの講話
・振り返り、提案

「ふくし」を知る
当事者との出会い

小学校
・調べ学習・「ふくし」とは？
・当事者ゲストの講話・まとめ学習



福祉教育における 小学校でのねらい

- ・福祉の対象を知る
 - ・当事者の生活を知り、関心を持つ
 - ・フィールドワーク等で、身近な福祉に気付く
- 

例えば… 講話（「ふくし」とは・ゲストのお話を聞く）
高齢者の集まりに参加、交流・福祉施設や特別支援学校との交流
学区内をフィールドワークなど

福祉教育における 中学校でのねらい

- ・ 当事者との対話を通し、同情心から理解・共感へ
- ・ 自分ができることを考え、提案する

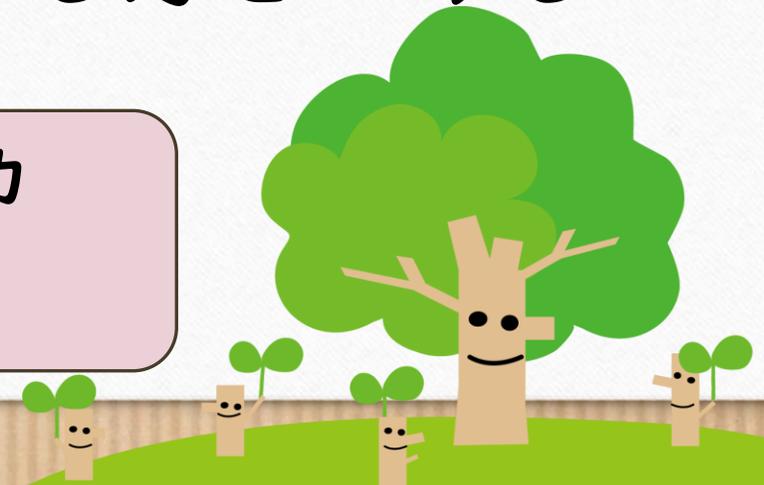
例えば・・・中学校区内の高齢者の集まりに参加・交流
職場体験（総合的な探求の時間）
福祉施設との交流、訪問（総合的な探求の時間・家庭科等）



福祉教育における 高等学校でのねらい

- ・ 自分が出来ることを持ち寄り行動し、
振り返り、改善する
- ・ 実践を通して、自ら行動する力をつける

例えば・・・ 高齢者の集まりなどへ参加、協カ
インターンシップ
ボランティア活動への参加



福祉教育は積み重ね

小学校・中学校・高等学校の「つながり」があるからこそ、福祉教育は深化します。積み重ねを意識して、福祉教育の展開を検討していきたいと考えています。

よろしくお願いいたします

